

死因、水俣病

と関係なし

水俣川河口で死んだ魚

先月二十八日、水俣川河口で腹を見せて死んでいた魚は水俣病によるものでないことが、熊本大学衛生学教室の入鹿山且朗教授の調べでこのほどわかった。

これは水俣病市民会議が、水俣病の疑いがあるとして水俣保健所に届けたもので、入鹿山教授が河口の海水とともに検査していた。

その結果、死んでいた魚、海水とも水銀は微量しか検出されず、「この程度では水俣病とは全く関係ない」と同教授は言っている。